

『南砺・令和の教育改革』地域説明会

参加者アンケート結果（意見・感想まとめ）

お住まい (中学校区)	城端 13 名、平・上平 12 名、利賀 13 名、井波 20 名、井口 18 名、福野 41 名 福光 36 名、吉江 17 名、南砺市以外 1 名 <div style="text-align: right;">合計 171 名</div>
年 齢	ア. 10 代以下 0 名 イ. 20 代 6 名 ウ. 30 代 23 名 エ. 40 代 66 名 オ. 50 代 39 名 カ. 60 代 25 名 キ. 70 代以上 11 名 <div style="text-align: right;">合計 170 名 (未記入 1 名)</div>
立 場 ※複数回答可	ア. 保護者 103 名 イ. 学校関係 15 名 ウ. 指導者・団体関係者 28 名 エ. ア～ウ以外の南砺市民 33 名 オ. 南砺市民以外 0 名 <div style="text-align: right;">合計 179 名 (未記入 1 名)</div>

1 「将来の小・中学校のあり方」に関して、ご意見や感想等がありましたら、ご記入ください。

I 【学校統廃合（義務教育学校化）に関する事】

a 地域間で学校の統廃合を進める

- ・井口、城端、井波が統合すればいい。
- ・福光中と吉江中を統合してほしい。
- ・一律に義務教育学校に移行するのは問題がある。山間部は義務教育学校、平野部は小学校をそのままにして、中学校を2つに統合することも考えられないか。
- ・人口統計や税収を考えた上で統合すべき。
- ・子供が減少している中で学校の統廃合を早急に進めていくのがよい。
- ・1校か義務教育学校8校かの統合案の比較ばかりで、統合して3～4校の考えはないのか。
- ・合併して南砺市となったのに、旧町村にこだわり、8校もの小中一貫校としようとするのは矛盾している。子供の選択肢を広げ、より良い教育を考えるのなら、統合を検討してほしい。
- ・地域の基盤は必要ではあるが、南砺市を一つの地域と考え再編・構築すべき。中学校を4校ほどに統廃合すれば部活動の問題もある程度解決するのでは。
- ・小学校は各地域、中学校は南砺市で2～4校でいいのではないか。現状でも福光の生徒が平や井波地域の事を学ぶ時間があるので、今さら8つの地域に分かれている意味が分からない。
- ・将来、社会に出た時に、色々な人と関わっていかなければならないので、小学校はそのまま、中学校は1校にして、色々な人と関わっていく力を身に付けてほしい。
- ・小規模校の良さもあるが、少しずつでもいいので、統合を考えてほしい。
- ・8中学校区で進めながら、生徒数の減少時には、校区再編も必要になってくると思われます。
- ・小中一貫で義務教育学校化する必要はない。小中学校を徐々に統合して、児童生徒数の規模を確保して児童生徒の関係をリシャッフルしていけばいい。
- ・南砺つばき学舎は、子供の数が減っていくが、いつまで続けられるのか。井波・城端に分けたらどうか。

b 地域内に学校を残す（義務教育学校化含む）

- ・少子化に伴い、将来、義務教育学校に変化していくことは致し方ない。
- ・学校の統合が進めば、地域意識が薄れていくのは、経験上ほとんどの人が感じている。
- ・福光地域も義務教育学校1校でよいのではないか。

- ・小中一貫の上で、旧町村単位で学校があることが大切だと思います。
- ・8つの地域に学校を残し、8つの文化を大切にすることは大事だ。
- ・南砺市全域が小中一貫校になれば、足並みが揃うと思うが、福光や福野など地域の広い地域では、通学が大変だと思う。スクールバスが登校手段となると思う。
- ・統合したとき、新たに建物を建てるのではなく、今ある学校を使う事は良いと思う。
- ・生徒数が減っていく中で、統合していく事は良いと思う。上平小学校は統合校なので。ただ、9年間一貫となると、どのような教育になるのか先が見えずパッとしません。区切りが見えません。
- ・市教育委員会のリーダーシップのもと進めていただきたいと思います。
- ・小中一貫校に関しては賛成です。生徒数の減少スピードが早いので、スピーディーな対応をしてほしい。
- ・各地域で小中学校が存続できるような形で進めてもらえれば良いと思います。
- ・山間部の小中学校に通う子供は、統合により現在の地域でない学校への通学となると、登下校の時間だけでも大きな負担となる。若い子育て世帯の町部への流出にもつながるため、学校は存続させてほしい。
- ・子供の数が減る中において、教育の質を落とさないための小中一貫教育ならやむを得ない。
- ・学校統合の話になると、全ての構想が崩れてしまう。市教委として、8校を残すという事を市民の皆さんに納得してもらう事が全ての納得と理解のスタートになると思う。
- ・不安もいっぱいありますが、将来の子供たちのためによりしくお願いします。
- ・少子化から義務教育学校になるのは致し方ないかもしれませんが、課題も多いと思います。
- ・地域性を重視する考え方に賛成します。
- ・福野は大きい小中学校だが、いつかは小中一貫にするのもいい。
- ・方向性という意味では賛成ですが、山間過疎地域でも夢を見られる教育を望みます。
- ・段々、地域性が薄れると思いますが、出来るだけ8町村の特色を生かし、その枠組みはしばらくはこの状態がいいと考える。井口のように小中一貫校もありだと思う。
- ・地域と学校のあり方は、今回の提言が適切であると思う。

c その他の意見・感想

- ・福光には11の旧小学校区があり、それぞれに特色がある。それを1つの義務教育学校にするとと言われても難しくはないか。
- ・少人数でも複式学級にしない努力も必要。
- ・義務教育学校となっても顔ぶれ（環境）が変わらない事で状況は変わらない。
- ・小中一貫校については、平・上平地域の統合時に反対があったため、小学校と中学校が別校舎となった経緯がある。
- ・子供の人数も減る一方で、どうして小中一貫教育なのか。
- ・利賀小中学校は、既に小中一貫教育状態だと思うが、あえて、新たに義務教育学校にする必要があるのか。
- ・全ての地域に小中一貫校は必要なのか。
- ・南砺つばき学舎は新設しましたが、他の7義務教育学校は新設するのでしょうか。新設するとしたら、採算は取れるのでしょうか。
- ・保護者の立場からすると、既に小中一貫校のようになっているので、問題ない。
- ・小中一貫の特色であった6限目の廃止や在校時間8時間、夏休みの短縮など、現状の仕組みでもできるのではないか。義務教育学校のメリットが良く分からなかった。
- ・「小中学校を小中一貫の義務教育学校とする」と言っても、一般の人には何の事か分からない。
- ・統合になぜ時間がかかるのか説明があればよかった。
- ・小学校から中学校へ段階的に集団を大きくして行ってほしい。
- ・公共施設面積の縮減の市の方針と合わせているだけで、何にメリットがあるのか分からない。
- ・小中学校で大切なのはまず勉強、部活はその次だと思う。部活のために再編というのはいかがなものか。
- ・8校区に8つの小中一貫校は理想だが、現実的に子供たちの数や金銭面で可能か。

II【学校のあり方の検討に関する事】

- ・難しい問題で正解はない。意見を出し合い、より良い形としてほしい。
- ・学校のあり方と部活動のあり方をセットで考えないと、相反する方向に行く可能性がある。
- ・地域づくりの人たちと連携してほしい。
- ・将来の少子化への対応は困難だと思いますが、地域とじっくり話をしてほしい。
- ・個人的には母校を残したい。子供には通学の不便がないようにしてあげたい。また、やりたいことに対して、できないという事がないようにしてあげたい。
- ・メリット・デメリットを一覧にして、対応策を出す方がよい。
- ・学校のあり方の再検討は、5年後では遅くないか。
- ・地域とは何かを考えた場合、南砺市全体を自分の地域と考える必要があるのではないかと思う。
- ・子供たちや移住者など、色々な人の意見を取り入れてほしい。
- ・大人だけでなく、子供たちにもしっかりと状況を説明し、理解した上で意見の聴取ではなく、話し合いの場をしっかりと取っていただきたい。自分たちの未来について考え、意見を伝える場が確保されることを願います。高校生にも、将来自分たちが戻ってきたい市にするための学校のあり方を考えてもらうというのも素敵だと思います。
- ・市民会議をやって意見を聞いて、課題の解決方法を探る。もう一度仕切り直しすると良い。
- ・分母は小さくなるのは見えているから、その場しのぎではない対応をしてほしい。
- ・部活動より、学校のあり方を長い目で見て、しっかり先を見て考えてもらいたいです。
- ・学校に行きにくい子供の対応について検討されているのか。
- ・児童生徒数にあわせた継続的な改善、改革が必要であることが理解できた。
- ・小中一貫校に関するアンケートについて、子育て世代の方々からも幅広くアンケートを望みます。

III【その他意見】

- ・発達障害の子供が増えているので、そのような子供でも受け入れられる場所があってほしい。
- ・うまくいっている学校や地域を参考に、自分の子供を通わせたいと思われるような魅力的な学校になるようにしていけばいいと思う。これにより移住者が増えるのではないか。
- ・主役は子供たちだと思う。子供たちの事を第一に考えてもらい感謝している。
- ・いろいろ考えていただき有難うございます。
- ・これからも、地域の意見を聞くと言っていたいただいたので安心しました。声なき声も拾って下さい。
- ・子供たちが育つための人的環境のレベルアップをお願いしたい。
- ・人間性の育ちを支える教育に対する意識を高めてほしいと思う。
- ・今回初めて内容を聞いたが、少子化の現状を数字で知り、今後の大変さを知りました。

2 「チーム担任制」、「地域を基盤とした小中一貫教育」に関して、ご意見やご感想等がありましたら、ご記入ください。

I 【チーム担任制に関する事】

a 肯定的な意見

- ・チーム担任制については、素晴らしい事だと思います。小学校についても、教科担任制の取り組みをもっと進めていいかと思います。
- ・チーム担任制では、得意分野の先生の授業を受けることによって、教科書以外の専門的知識も身につく機会が増えると思う。逆に、子供からは、担任の先生が良かった（低学年）との意見もあるのは確かです。授業の様子を見ていて、どの先生とも親密に関わる機会を持てていると感じたので、担任が全教科教えるという従来の形より学校全体の団結力に繋がり、子供達もどの先生にも相談しやすい環境になると思う。
- ・チーム担任制は、複数の先生で子供を見てもらえる感じがするので、とても良いと思います。ベテランの先生と若い先生が、うまくバランスが取れて偏りがなくなるので良いと思います。
- ・チーム担任制を活かし、教員の働き方改革に繋げたい。
- ・質の高い教育を目指す上で、チーム担任制は良い取り組みかと思います。ベテランの先生は、若手の先生に手本となる行動を見せて頂きたいと思いますが、保護者や地域の方からも見られている自覚を持ってほしいと思います。
- ・チーム担任制は良いかもしれない。小中一貫教育はどうか。
- ・チーム担任制はいい考えである。地域を基盤とした教育はいいが、地域の単位は、現在の中学校区である必要はなく、市全体でもいい。
- ・新採教師へのOJTが丁寧になるメリットがあることに納得しました。時間にゆとりが生まれることで、教材研究も進み、より良い授業ができると思う。
- ・チーム担任制は良いと思います。子供が言いにくい教師もいるので、その選択ができるようになるのならば良くなると思います。
- ・チーム担任制は、良いことの方が多と思うが、責任の所在はあいまいにならないか。
- ・チーム担任制は昔、保育現場でもそうだったので、良いかと思う。
- ・チーム担任制となって、子供が異学年の友達の名前を呼んだり、話したりすることが増えた。1学年だけでなく、2学年が合同で活動することが増え、学ぶ事や成長したことが増えたと思う。
- ・1人の先生に偏るチーム担任制は不安もあるが、方向性は良いと思う。
- ・音楽や体育などのチーム担任制はよいと思う。国語、算数などは学年毎の授業との説明で安心した。地域を基盤とすることは、地域の協力も得やすくなるため良いことである。
- ・多様な子供たちに柔軟に対応するには、チーム担任制は有益だと思う。
- ・チーム担任制になることで、新人教員の負担が減り、離職率も下がるのではないか。
- ・現在、娘が学校でのチーム担任制でスムーズな学校生活を送れている。昨年担任の先生とうまくいかない時間を過ごしていましたが、今は学校に行くことが楽しいようです。他県の子供を持つ親御さんや教育関係者の方からもすごくいいねと言われました。
- ・チーム担任制、小中一貫教育に賛同します。
- ・複式学級となることで、異年齢の人たちと関わるようになる。上の学年は引っ張り、下の学年はその姿を見る。次の年度は下の学年だった集団が上の学年になる。いい経験が出来るのではないか。また、年度によって、関わる人が変わるので、ルールを決めるなど経営力も身につくのではないか。
- ・子供を見守る体制づくりに適していると感じる。
- ・先生の負担軽減なら部活も複数で担当されたらどうか。

b その他の意見・感想

- ・チーム担任制は複式学級なのか。チーム担任制は悪い事ではないが。
- ・チーム担任制は、小学校ではある程度良いと思うが、中学校では先生方の教科が異なっているので、朝の会や終わりの会以外では活用ができにくいのでは。
- ・チーム担任制の例として小1、小2がそれぞれ15名を担当するという事ですが、1クラス30名以上の学校もあります。2学年で60名を担当する事となりますが、現実問題として可能か。
- ・チーム担任制となることで、先生側の意識はどう変化するのか。

- ・チーム担任制にして、本当に教員の残業時間は少しでも減っているのか。
- ・教員の数が増えない状況では、かえって教員の負担とならないか。先生方の正直な思いを聞きたい。
- ・小学校のチーム担任制は、学年により学力の違いがあり、下学年はついていけないのか。
- ・チーム担任制として50人学級にはしてほしくない。教員の数を増やす要望活動をしてほしい。教員が少ない中でやれという事が間違いだと思う。
- ・チーム担任制もいいと思うし、先生の負担も考えると望ましい。しかし、保護者としては子供の事について、誰に相談すればいいのかわからない。
- ・小学校のチーム担任制が、昔の複式学級と同じに思えます。複式学級が悪いわけではないのですが、平・上平地域の小中学校の統合の話の時に、複式学級反対意見があったので、違いをしっかりと説明しないと、保護者の納得が得られないのかと思います。

II 【小中一貫教育に関する事】

- ・小中一貫教育は、子供の育ちにとって、とても大切な事である。
- ・中1ギャップもあるが、小1ギャップ、高1ギャップの対応も必要。
- ・小中一貫教育に対して現教員がしっかりとビジョンを持って連携できる人になるよう質の向上を図ってほしい。
- ・小中一貫教育は、小学生から部活動への参加、見学ができればいい。授業時間を合わせる必要性はないと思いました。
- ・課題として、小中一貫教育の場合、一度イメージが付いてしまうと、どんなにイメージを打破しようとしても難しい。例えば、何かきっかけにじじに発展した場合、それを正すことはなかなか難しいと考える。
- ・小中一貫教育に賛成です。地域外へ出ることを減らし、他地区からどんどん利賀に来てもらうことを望みます。
- ・9年間の長期的な視点・計画で教育を進めていくことは、中1ギャップなどの解消にも繋がり、良いと思った。
- ・小学校高学年での教科担任制の導入も中学校へのスムーズな移行になると思う。
- ・やってみないとわからない。小1から中3まで交流できるのはいいが、良い事と悪い事がありそう。
- ・どちらも良い案だと思います。細かいところの調整やケアがどうなっていくか気になる所ではあります。つばき学舎の「自学の時間」は素晴らしい取り組みだと思います。

III 【特認校制度、特色ある教育に関する事】

- ・井口などは、特認就学で多くの子供に来てほしいのなら、保育園児年代から体験入学、交流会など設定するのも手ではないか。
- ・つばき学舎の説明会を何度も聞いてきたので理解しやすかった。外国語教育については、子供達が本当に楽しく授業を受けてきて、家で英語の歌を歌い、習ったことを自慢して言うので、ぜひ他の学校でも小学校低学年から身近に学ぶ機会を増やしていけば中学生になってからの英語の壁にぶつかって苦手意識を持つことが減ると思う。
- ・特認校はだめ。
- ・特認校となると、特定の学校に偏るのではないか。
- ・福野でも5限までの授業、夏休み20日間を実施して下さい。長い夏休みは不要です。
- ・南砺つばき学舎の特徴的な教育活動（5限後下校など）にはびっくりした。他の学校で同じレベルの事が出来るとは思わない。
- ・南砺市全体での地域活動・教育は出来ないのか。旧町村のみが地域なのか。
- ・福光の教育計画についての資料を読んだことがあるが、チームティーチングなどが書いてあった。オープンスペースなどの必要を実現するために学校校舎の建設を進めてきている。中学校については、加えて教科教室型へ変化している。
- ・5限で学校が終わることは良いと思います。部活動は夜の練習中心になるのだと感じました。
- ・とても良い考えだと思う。

- ・小学校登校時に一人となるので校区外の小学校に通わせたいと思う。その学校のクラブ活動が子供の母親から見ても魅力的だと思う。
- ・区域外就学を何の制限も無く認めることになると、山間部の学校には児童生徒の流出を招き、ひいては地域からの人口流出に繋がりがねないのではないか。
- ・小中一貫、地域の特性を生かす、スポ少も中学まで続けることを推奨という事であれば、小学校から学校を選ぶという事は可能でしょうか。
- ・井口では数年後に1学年 5、6名ばかりの時代になる。特認校という形で、他の校区から入学してきても少ないと思う。その場合、今後どのように進めていくのかも踏まえて、また考えて説明会あればいいかと思います。
- ・簡単に統合といっても、10年かかると言われ、一貫校、特認就学の案はいいと思いますが、特認就学により別の学校に行く際は、親の送迎の負担は大きい。

IV【その他意見】

- ・もっと詳しく練る必要を感じます。
- ・どちらの方法もメリット・デメリットがあると思う。一人一人の子供が本当に自分の考えを持って、目標を定めて活動していけるように基礎的な力を身に付けさせてほしいと思う。
- ・子供の能力の低下に伴い、底上げできる先生の実力も求められる。人材育成そのものが教育にとって一番必要な事だと考えます。
- ・やってみないと分からないと思います。
- ・子供が安心して通える環境になるなら進めてほしい。やってみて結果が出るようなら進めてほしい。
- ・8地域の面積が違うため、検討してほしい。
- ・まずはアンケートを取ってほしい。
- ・実績や地域ごとのデータがあると分かりやすかったかも。
- ・あまりよく分からない。
- ・児童生徒が何人からこの制度を導入するのか。
- ・質の高い教育は、それを感じる児童生徒たちです。
- ・自己満足の授業、独りよがりの思い込み、勘違いの先生はいりません。児童生徒に寄り添う先生を。
- ・メリット、デメリットが想定される以上にあると思う。生徒、先生方の意見が通りやすく、改善もすぐにできる体制を希望します。
- ・これまでも実施してきた活動に通じるもので、取り入れることには抵抗がなく、良い方向だと思う。
- ・いろいろ改革をやらせられているのですが、量が多く、早急すぎて、教師の多忙化が加速しています。なんとかしてください。
- ・今後、1学年が35人前後になってくる事が増えると思われるので、市独自に出来るのであれば、低学年の1学級の定員を減らすことも検討していただきたい。
- ・発達障害や不登校やいじめ等の課題もあり、とにかく子供たちが人として育つための教育を大切にしてほしいと思う。

3 「中学校部活動の拠点校化」について

(1) 「中学校部活動の拠点校化」に関して、あなたは、これから中学校部活動の方向性について、次のどれがよいと思うか、**1つ選んで**○を付けてください。

- ① (59名) 今日説明を聞いた、『拠点校化案』を進める。
- ② (31名) 学校ごとに地域移行して、部活動数を減らす。
- ③ (21名) 今のまま残し、自然に減るのを待つ。(※ただし、教員の勤務時間内での活動となる)
- ④ (28名) その他

I 「具体的な方法についてご提案ください。」

a クラブチーム化、地域移行

- ・拠点校化は仕方がないが、校区を変えずに子供に興味ある部活をさせてあげたい。例えば、地域スポーツクラブ活動のみ参加できるなど。
- ・クラブチーム化が、持続可能だと思います。説明会の顔ぶれ見ても地域指導者ばかりで保護者は無関心なのか。
- ・部活動は、学校の管理下の時間帯でそれ以上の活動を求める場合は、クラブチーム等を検討すればよいのではないか。
- ・拠点校化をし、その先には総合型地域スポーツクラブの活動にしていく必要があると思う。学校における部活動は指導者の問題も含めて、地域に移行していくべきである。
- ・専門的な練習は、短い部活動の時間では足りないので、夜の練習が中心になっていく気がします。
- ・試合出場の資格は分かりませんが、地域でクラブチーム化している種目をまかせればどうか。
- ・小学校でやっていた活動が続けられるようにしてほしい。部活動にこだわらず、続けていける方向もあるのではないか。

b 現状維持、学校毎の統廃合

- ・部活動を見直して、子供たちの意見を聞いて廃部・新設を考えてみたらどうか。指導者の問題もあると思うが、できる部活動は限られてくる。指導できる教員の配置も考えてほしい。
- ・競技が成り立たないほど人がいなくなっても部活を潰さないところは、弱者救済せずに細々と続けていってもらえたらよいのではないか。
- ・その時にいる子供同士が話し合い、決めていけばよい。
- ・現状維持。ただ、チームが組めない場合、隣接の中学校としてチームを組めるようルールを作る。
- ・同好会だと思います。
- ・各校で成り立たない部活動から無くしていき、特認就学を併用してはどうか。

c その他の提案

- ・部活動を週3回ではなくて、先生の都合のいい日数だけすればいいのでは。
- ・部活動だけを拠点化し、保護者が送迎しやすい夜の部活(19:00~21:00頃)とすればいい。
- ・放課後になんバスで移動できればいいと思う。
- ・市全体で拠点校化していくことに納得はできますが、まずは福光中と吉江中を統合してほしい。
- ・山間部と平野部の地域をグループとして部活動を統合する。通常は各学校での活動(個々の体力・技術面)を行い、地域の協力をもとに週に数回の全体部活動(チーム活動)を行う。
- ・当面は、1種目1校ではなく、2校あってもいいとすればどうか。
- ・他市の良い事例や悪い事例、文科省の考えを学んで、その上でたくさんの意見を聞いて丁寧に。
- ・通学時間により、利賀は単体でするより他はないと思う。
- ・3年間同じ部活でというシステムが変。もっと自由にすればいい。
- ・やりたい競技に制限がかからないようにしてあげたい。地域に頼ることは良いのですが、学校により指導者や時間などに差が出ることは、子供にとってかわいそう。
- ・学校の統合を進める方が、結局は早いのではないかと思う。
- ・サッカーを11人制から8人制に変えればいい。

(2)「中学校部活動の拠点校化」に関して、ご意見や感想等がありましたら、ご記入ください。

I 【部活動の拠点校化に関する事】

a 肯定的な意見

- ・南砺市は広いので、拠点校に移動するのは大変だと思うが、しかたがないと思う。
- ・拠点校化への道は険しいと思うが、歳月の経過とともに、その正当性と必要性が明らかになると思う。
- ・拠点校化しても、本当にやりたい人だけに限定する。
- ・拠点校化については、少子化問題もあり、地域ごとに種目を特定して更なる強化することはいいと思う。競技ごとに地域で集まり、子供や指導者共に潤えば、盛り上がっていくと思います。
- ・現在でも、部活動の試合でチームを組めない、他中学も一人だと無理という事があるので、集まって行うのも良いと思う。
- ・もっと部活動を絞って、例えば南砺市は柔道が盛んな町みたいな感じで、保育園の時から英才教育で柔道をさせる。
- ・教員の部活動への負担を軽くし、地域の指導者へお願いするのは良いことだと思う。特認就学については、誰でも可能にせず、一定の基準を設けるべき。子供に自由を認めすぎて学校から子供がいなくなることを懸念する。公共交通機関が少ない地域であるため、交通政策も含めて、親の負担が重くならないように配慮をお願いしたい。
- ・賛同します。ただ、特別に中学校が変わった生徒については、前後の学校で情報共有をしっかりとする必要があります。
- ・拠点化を進めるにしても、犠牲となる学年(3年生時に部活が他校拠点化になると知らずに部活を選択する学年)が出ないように計画頂きたい。

b 否定的な意見

- ・部活動の拠点校化は無理がある。それぞれの学校で部活動を好きに選択できる今がベストでそれ以外ありえない。
- ・反対です。部活動を優先し、入学先を変えるのは現実的でないと考えます。私は通学も学びの一つと考えます。
- ・非現実的。全学年に、アンケート調査しましたか。学校統合したら問題解決なのではないですか。スクールバスは、民間バス会社に委託すればいいのでは。小矢部市が先か南砺市が先か。生徒の数に対して指導者何人必要ですか。時間内なんて先生無理じゃないですか。地域指導者の平均年齢を知っていますか。
- ・現実的には難しいと思います。市内の中に地域で合同チームを作るなど、人数が不足している部活動はチームとすればいいと思いますが、合同練習はできないと思います。
- ・チーム編成が出来ない事は何の問題もない。
- ・この考えは、今部活動をしている子たちが全員その部活動のある学校へ入学することが前提だと思いますが、自分の地区の学校にある部活動で、あきらめる子ばかりだと部活動は成り立たないと思います。それは考えていますか。ただ部活動の数が減るだけにあると思います。親の都合で子供がやりたいスポーツ等をできないようになるのはどうなのかと…。
- ・教員の負担を減らすための策としか思えない。
- ・拠点校化の言葉が不適切。何の拠点なのか。

c その他の意見・感想

- ・部活動の拠点校化は、地域のスポーツ指導者からの反対も多いと思います。富山市の学校選択制のように、特認修学可能を早くしてしまっって、人気ある学校に強い子供が集まるようにすれば、人気がなく生徒を取られた学校の部は早々に寂れて消えて行くと思います。
- ・拠点校に通学する子は親の負担も大きいので、もっと考えてほしい。
- ・富山市の部活動と南砺市が考える拠点校化とはどう違うのですか。
- ・拠点化の完全実施の年度に既に廃止部に在籍している子供達はどうなりますか。
- ・拠点校を作るとしたら、誰がそれを決めるのか疑問に思っている。

- ・1学年の募集を停止し、全員が部活動引退を迎えるまで自然減とする。この場合1年生時の部活動選択の際に、将来募集停止となるため、試合編成できない可能性があることを踏まえて選択できるようにしてほしい。
- ・他の部へ転籍する場合も1年生時にその旨理解して部活動選択ができるようにしてほしい。つまり、部活動の取捨選択が決定してから募集停止するまでの期間は3年必要なのでないかと思う。
- ・拠点校化のメリット・デメリットはある程度理解できたが、子供が校区外から入学すると、例えばPTAや育成会の活動を頼もうとしても生徒の情報は個人情報として教えてもらえず、活動に参加したい人も出来ない状況にある。それに対する対処も考えてほしい。
- ・拠点校化については、子供は何をやりたいのか。部活動が一部に偏っていると思います。
- ・部活の拠点校化は、子供に友人と離れてその部活をするために、行く中学校を変えさせるのか、校区外の中学校に行くことは、地域の郷土愛やその地域の特性を生かした教育を目指すという南砺市がすすめる教育改革とは相反すると考えますが、どうでしょうか。
- ・部活動を拠点校化するなら、生徒の負担、保護者の負担を考え、部活動は入部自体自由としなければおかしい。
- ・各団体が指導可能な場所を中学校部活動の拠点校とあるが、これは定期的に拠点校が見直されると考えて良いか。
- ・拠点校化に伴う各学校の部活動の配置についても、多様な意見が出てきそうです。各団体が決めるとしてもエビデンス（根拠）を明確にしておくことが大切だと思います。
- ・何人が学校を変わって部活を重視するのか、アンケートは大事だと思います。
- ・「学校での選択肢が減る」との説明を聞くと、「友達と同じ学校に行き、やりたい部活ができずに我慢する子供たちがほとんどである」といった事を前提としているという意味に受け取られてしまうように感じた。実際はそうなると思うが、良い印象を受けられないと思う。
- ・地元の中学校に在籍し、部活動だけ移動するようにしないと、学校の生徒数の偏りができると思います。子供たちや保護者はそのようにすることを願っているのではないと思います。
- ・合同部活動（中体連）でワンクッションおく手もあるのではないか。
- ・特定スポーツカラーの学校に将来的になってしまうのでしょうか。中学までは、様々な子供たちがいるからこそ、高校につなげるようにと思います。
- ・最短で令和6年スタートとの事ですが、南砺つばき学舎の部活動は、地域のクラブ活動も内容によっては認めるとの規定で、他校よりいち早くスタートしました。しかし、実際は、新規にスポーツを始めるにあたっては、他地域の受け皿の方が整っていないというのが現状でした。南砺つばき学舎の開校に合わせて、もっと早く議論してほしかったという思いはあります。
- ・現段階では、まだ判断がつかない。

II【地域指導者に関する事】

- ・その地域での指導者も永久的に確保や指導できる体制が確保できる保証はなく、地域指導者の育成面もどのようにフォローしていくか検討が必要と考える。
- ・各指導者が仲良くチームとしてやれるのか。人は確保できるのか、そんな組織をまとめる人がいるのか。確認が必要だと思います。
- ・各中学校には、すばらしい部活をしている部や指導者がたくさんいると思います。うまく生かせるようにお願いします。
- ・地域の指導者について、全市指導者の協力体制とは、どういう風にするのか。
- ・地域指導者の目途か付いているのか不安である。
- ・昔、吹奏楽の指導をしたことがあるが、月に数千円で週一回以上してほしいと言われた。指導者のギャランティーも考えてほしい。
- ・部活動の指導を地域団体に移行するとの事だが、人選については、部活動の意義を理解して指導していただく事が大事である。
- ・体育協会、各種団体等とのすり合わせを十分にしてほしい。
- ・地域指導者に頼むとしても、今現在、その地域でうまく回っている部活動もある。8地域で拠点校化すると、指導者の負担が増えると思う。
- ・部活動の指導者や地域の方々のお意見もしっかり聞いてほしい。
- ・指導者体制も十分とは言えず、強くなりたい、楽しみたい子も願いが叶うように考えてほしい。

- ・現在、地区ごとに試合をしているが、指導の協力になると、試合はどうなるのか。
- ・地域指導者が集まりにくいという事はないと思う。市外からもコーチは来ています。
- ・地域指導者に負担になるため、部活動を指導する人は少ないと思います。
- ・吹奏楽部の合奏が成り立たなくなった原因は生徒数の減少が主因ではなく、指導者の質の低下により部員が減少したためです。各部活動をちゃんと指導できる教員を配置していただきたいし、指導者の育成もしていただきたい。
- ・地域指導者も減っていくことも考えているのか。
- ・スポーツ少年団指導者などとの協議をお願いします。
- ・指導者ありきではなく、子供の意見、親の意見、地域の意見も反映させてほしい。
- ・手厚い指導が重要。

Ⅲ【特認就学に関する事】

- ・同じ種目が他校にある場合も特認就学は認められるのか。
- ・特認就学までしなくても、好きな部活に参加できるように試行錯誤が必要ではないか。
- ・福光地域は特に特認就学を早く実施してほしい。
- ・小学生の子に部活のために学校を変えるという大きな選択をさせるのは負担ではないでしょうか。
- ・来年度から特認就学を可能としてほしい。吉江校区から福光校区へ引越して、今は依然の校区の小学校に通っているが、中学校からは福光中に行かなければならない。子供は、友達や部活動の事も考えて吉江中に通いたいと思っている。そのまま吉江中学校に通わせてあげたい。
- ・学校を選択できる特認就学とあるが、部活動で学校を選択するのはおかしい。居住地域以外の学校を選択した際の通学方法は。入学した中学と違う中学へ部活動に参加する移動手段は保護者の送り迎え。親の負担を増やすのは、あってはいけないこと。
- ・登校の手段が親まかせなのは、不親切かと思います。スクールバス等（下校だけでも）、なんバスでも何か考えていただきたいです。
- ・部活動のみの他校への就学は、子供の選択が増えるので、出来ればよい。その際に、市のバス等を活用してほしい。
- ・強い子供は、どこまでも通う。そうでない子供にスポットをお願いしたい。
- ・不適応を起こした場合も柔軟にやさしく対応をお願いしたい。（①入りたい部活動がないが、特認就学で通う気もない。学校にある部に仕方なく入る。②特認就学先にて部活動面等で馴染めずに従来の校区に戻る。通学先で転部するなど。）
- ・自分の脚で行けない・行きづらい学校、スクールバスが無い→親が送迎することになると、近所・地域・見守り隊、先輩・後輩・同級生などへの挨拶がなくなる。交通ルールを理解、時間を見て行動など沢山の学びがあるのに、大事な学びの時間を車に乗ってスマホを見る時間や睡眠時間にしてほしい。
- ・絶対この部でやっていくという生徒は数%しかいないと思う。その部活動でやっていくんだという強い意志のある生徒は、南砺市内で転校しないと思う。県外等に出ると思う。
- ・夜間に部活動をするという事になると、夜の送迎が無理な家庭、生徒はどうするのか。
- ・特認就学など不要。地域で育てる。部活動は学業の次、地域の次である。
- ・方向性は良いと思います。ただ、転入する際の基準がどうなるか心配です。
- ・校区外への拠点校への送迎ができない保護者はたくさんいると思う。そこまでして子供の希望する部活動をさせることは難しい（山間部はとくに）。
- ・保護者に頼らない交通移動手段（自転車不可）が確保されている事が必須条件。
- ・送迎など家庭環境に左右されない方法が必要と思う。義務教育なので格差が生じないことが必要と思う。

Ⅳ【部活動の種類、クラブチームに関する事】

- ・各地域の小学校からやっているクラブチームを教えてください。
- ・クラブチームへの南砺市からの支援はないのか。
- ・ダンスや習字などメジャーな部活動以外の運動、文化で頑張っている子供に対してはどうなるの

でしょうか。

- ・クラブチームの充実が必要。
- ・小学校から大学まで同じ競技をする人は限られる。クラブチームで活動しても、いつかはやめなくてはならなくなる。
- ・校区内にやりたい部活動がない場合、部活動のある中学へは入学せず、外部のクラブチームへ入部することもあると思います。拠点校化しても成り立たない部活動もあると思います。その点も考えてください。
- ・チームスポーツの拠点校化は、人数の問題で仕方ないのですが、1人で出来る文化部の数は、ある程度残してあげたい。
- ・スポーツでアスリートを目指す子供であれば、各スポーツのクラブチームに最初から入ると思います。または、今でも若干事例が見られる、その中学校の部活動に入りたいたから、その中学校に入学することでもいいと思います。つまり、現状維持を求めます。
- ・部活動については、地域移管（クラブチーム所属等）も出てくるので、相当検討が必要かと思います。
- ・バレーボールは6名を割っても平・上平地域に残してほしい。統合チームで参加する。もし、やる気のある保護者がいれば、協力して夜の練習くらいは拠点校に送迎して、地元の中学校に通学する。
- ・山間部は現状維持で、今後児童数や指導者等を考えて変更（団体競技から個人競技）するなど、時間をかけてもいいのではないかと。
- ・そもそも、部活動に入らないという選択肢もあって良いのではないかと思う。例えば、地域のプールやジュニアコースに入って自分を磨きたかったら、それも認めてほしい。多様化への第一歩だと我が家ではとらえている。今後、無理矢理の部活動の登録をなくしていけたらよいと思う。
- ・帰宅部は認められるのか。全員部活動制はそのままか。
- ・チームプレーの競技が減り、練習は出来るが、大会に参加できない。
- ・選択できる部活が単純に増えるわけではないのだなと思った。子供の希望によっては、世帯ごと転出することにならないか不安があります。また、部活動をする中で、特に運動部は試合に出る事、そこで勝つことを目標にしてモチベーションを保っていると思うが、試合の方法等はどうか気になります。
- ・部活動がスポーツを通じての全ての教育ではなく、部活動を通じて協力することや目標に向かっていく努力に気づき成長していくことが大事だと思う。部活動の数が少なくなっても構わないし、子供の成長がそれで阻害されるとは思わない。
- ・トレーニング部、サーキット部のような活動があるといいと思います。

V【中学校部活動のあり方の検討に関する事】

- ・どちらが良いか考えがまとまらないので、今後の方向性への情報をまた確認したい。
- ・部活動のために地域の中学校へ行けないことは、「地域を基盤とした小中一貫教育」と相反するように思う。
- ・一度ゼロベースに考え直すべきだと思います。子供たちの事をよく考えてほしい。
- ・すぐに実現する事は難しいので、このような説明会や検討委員会で話し合わせ、より良い方向に進むことを願っている。
- ・問題点を洗い出し、あせらず、じっくり進めてほしいです。アンケートは生徒、保護者全員にとると良いと思います。
- ・充実ありきに傾くのはいかがかと思う。減少してもマイナス面もありますがプラス面もあります。
- ・地域の特性を活かすと言われますが、そのようには聞こえない。もっともっと討論すべきです。
- ・「地域に根ざした」は、旧町村の範囲か、南砺市全体かが分かりにくかった。
- ・中学校学習指導要領における総則第1章第4の2（13）の共通理解（子供の考え方）を大切にしてほしい。その際、地域の人々の協力、体育協会や各種団体、社会教育関係団体等の各種団体と連携しながら、運営上の工夫を行うこと。
- ・今は移行期だと思います。納得できないこともあるかもしれないが、今後の子供たちのために少しでも良くなればいいと思う。
- ・子供の数が減少する中で、学校だけでは取り組めない内容なので、市全体で取り組んでほしい。

- ・部活動は集団活動でのマナー、社会性、団結力を身につけるためでもと思います。学校になんいスポーツに力を入れたいとなると、地域部活動に入るといのもひとつです。その際に、地域移行に伴う設定という形で理解はできますが、やはり大会に出られないというのは子どもたちには可愛そうだと思います。いろんな団体とか決まりがあるとは思いますが、大会に出られるようにしていただきたい。
- ・まず、中学校の部活動をどの様に考えるべきなのでしょう。部活動は、義務教育を行う、中学校の授業の一環ではないでしょうか。地域に根ざした中学校で同級生と行うことに意味があると思います。
- ・多様な選択ができるようにしてほしい。大人が決めたルールやルールで疑問を感じない学生を増やさないでほしい。
- ・慎重に協議を進める。
- ・子供、指導者にどう思うか説明し、アンケートを取ってほしいです。
- ・子供に好きことをあきらめさせるのはつらい。統合を検討してほしい。南砺市全体で一つの中学校ではなく、福光・吉江など学校の人数によって段階的に統合を進めてほしい。
- ・生徒たちに部活動優先か生徒同士のコミュニティが大切なのかしっかり話を聞いて検討してほしい。生徒にとって一番必要なことを確認してほしい。
- ・色々な条件がある。家庭環境も異なるので、あまり急ぐことなく、より良い方向へ進んでほしい。
- ・部活動の地域移行は、教員の負担軽減にとって当然だと思っている。ただ、子供の選択肢を選ぶ権利を狭めないでほしい事をお願いする。また、子供の多い時代の中体連のしぼりとかの決まり事を今でもそのままにせず、新しく変えていく事も大事だと思っています。

VI【その他意見】

- ・南砺市のスポ少も一緒にまとめていくのもいいのではないか。
- ・いろいろ引っかけすぎて、理解に苦しむ。
- ・スポーツ少年団と競技協会の意識改革がポイントだと思う。
- ・小中一貫教育にしろ、拠点校化にしろ、とても理想的で軌道に乗れば児童生徒にとっても教員にとっても素晴らしい事だと思います。大変なご苦労があると思いますが、南砺市の子供たちのよりよい未来のためにご尽力頂けますようお願いいたします。
- ・良いのか悪いのか分からない。このアンケートに今日の説明会が良かったとか、悪かったとか、理解できたとか。賛成、反対の項目もあった方が良いでしょうね。
- ・町部の問題だと思っている。
- ・運動部に関するやり取りばかりで非常に残念でした。自分からやりたくて吹奏楽を選びましたが、中学生2名、小学生2名、顧問の先生も未経験、外部講師の方は基本月1回…、外から見ると力の入れ具合にも大きな差を感じてしまいます。全ての子供たちがやりがいを持って取り組めるような配慮をお願いしたい。「拠点校化」についても開始まではまだまだ時間がかかるとは思いますが、今の子供たちにとっては現在進行形です。制度が出来た頃には卒業という事にはならないようにお願いしたいです。
- ・個人飲食店経営者ですが、全員にアンケートを取る方法はあまりいい方法ではないと思います。アンケートを書くのは真剣な親たちです。また、真剣な親も一人一人の意見が違います。お客様の意見を全部聞いていたら店はつぶれます。不公平を全て南砺市のせいにするのは違うと思います。自分の子供はクラブチームに通っていますが、小学生の子供でも砺波や高岡からJRで通っています。JRでも自転車通学は中学生でもできると思います。

4 「その他説明会等、全体的な意見」について

- 説明会の周知をもっと分かりやすくしてほしいです。城端地域にこれだけしか参加していないのは、色々と問題がありますが。そもそも、分かっていない保護者が多いと思います。小・中学校に一斉メールもいいかもしれません。
- 今日の話聞いて、今後の期待・希望が明るく持てた。
- 子供の思いや好きな事を伸ばせる環境作りに期待します。
- 出来ることから着手して、より良い方向へ持っていくことが大事である。
- そもそも、問題は少子化が止められないことにある。少子化を止めるには、①世帯での子供を増やす。②市外からの転入者を増やす。③市内の婚姻率を上げる。④市内に産婦人科をつくるなどの対策が必要である。
- になりたい職業TOP3に入るくらいに子供たちが憧れる先生を目指してください。生き生きとした教員がもっと見たい。
- 教員の質を向上させる策の提案はないのか。
- 質問者の発言にかぶせて回答するのはよくないと思います。
- ここで書くことではないが、住民からの質問に対する返答が具体的でなかったり、短すぎたり、説明ありきで聞く姿勢があまり感じられず残念でした。
- 他地区で出た意見を公開していただけると幸いです。